

令和4年度第2回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和4年7月6日（水曜日） 午後6時30分～午後8時30分

開催場所 立川市女性総合センター（AIM）5階第2学習室

出席者 [委員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員 難波 敦子 委員
宮本 直樹 委員 岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員
[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 新藤 博
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0名

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 報告事項
 - (1) 地域学習館におけるWi-Fiの利用開始について
 4. 協議事項
 - (1) 令和4年度第1回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度取組状況の進捗評価について
 - (3) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について（幹事市）
 5. その他
 - (1) 中学生の主張大会について
- 配付資料
1. 令和3年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
 2. 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度取組状況の進捗評価表（令和4年度実施）
 3. 令和4年度第2ブロック研修会 企画案
 4. 中学生の主張大会について

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
 - (1) 地域学習館におけるWi-Fiの利用開始について
（会長）事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 前回の会議でも話題になりましたが、各学習館に設置された Wi-Fi が 6 月 24 日より利用できるようになりました。ホームページや各学習館にて開始の周知をしています。対象は学習館利用者全員で、窓口でパスワードを確認した方はどなたでもお使いいただけます。また、学習館と地運協などで Web 会議も実施できるようになりますが、利用者がオンラインを通して講座に参加するようなものについては、まだ準備中となります。明日の全庁的な会議にかけるのですが、内部手続きが整い次第、開始する予定となっております。今後の進捗状況についても動きがございましたらご報告いたします。報告は以上です。

(会 長) 何かご質問やご意見等はございますか。

(A 委員) オンライン講座がまだということですが、理由は何かということがひとつと、学習館によって、スピードが全然違っていて、砂川学習館についてはポケット Wi-Fi で運用しているので 1Mbps くらいしかでていません。測ったところで一番早かったのは幸学習館で 300Mbps も出ています。何百倍もの差はどこから出ているのでしょうか。

(事務局・係長) 前半の方は、映り込みとか個人情報に関するところが大きいのですが、明日は情報化推進委員会というのがあって、不定期に開催されています。月に 1 回開催されるかどうかの会議で明日が今年度 1 回目の開催となります。さらにその後に 2, 3 カ月に一度の個人情報保護審議会にかける必要がありまして、そこが調整中となっております。

(事務局・センター長) 手続きの部分に関しましてご迷惑をおかけいたします。委員会です承いただければ速やかに情報提供させていただきます。2 点目でございますが、私も 6 館回ったのですが、感度が異なっております。砂川学習館がポケット Wi-Fi を使用しているのは、建替えを控えていることが関係してありまして、令和 5 年度の途中で解体をしてしまう予定がございますので、ポケット Wi-Fi という簡易的な方法で提供しているところでございます。他の施設は数字のことはわからないのですが、非常に感度のいいところと悪いところとございます。建物の特性であったり、方角だとか、技術的に難しい部分があったと業者からも聞いておりまして、まずはサービスを開始させていただいたというところでございます。改修等の中で、使用しているところを見ながら位置を変えてみるとか今後は考えていかななくてはいけないと思っておりますが、現状はこの運用を進めていきたいと思えます。

(A 委員) 補足になりますが、10 か所ずつくらい現地で速度を測ったのですが、ベースのネットワークの速度が違わないですかというくらい差がありました。例えば高松は 50Mbps で西砂 100Mbps 前後でした。例えばアクセスポイントの真下で測っても同じ数値になるので、何でその差が出ているかまではわかりませんが、ベースの部分で何か違うのではないかと思うほどです。

(事務局・管理係員) 行政が使用している LGWAN 回線と Wi-Fi で使用しているネットワークは別だとは思いますが、それぞれの学習館によって回線の太さが違うという話は聞いたことがありまして、実感できる程度のものかわかりませんが、

通信速度の違いというのは発生しているようです。なので、Wi-Fi に関してもフレッツ光の引込部分なのか詳しいことはわかりませんが、大元の部分で差が出ている可能性はあります。

(A委員) なぜなのかというところは業者に確認していただければと思います。自治連の方で加入促進委員の委員長になっていて、オンラインで会議をしてほしいと言われていました。普段は市役所で行っているのですが、Wi-Fi がないので、いろいろ考えた結果、駐車場も広くて通信速度もそこそこということで、西砂学習館を使わせていただくということになりました。学習館によって特性というか違いが出てしまったという報告を兼ねた質問でした。

(副会長) 柴崎学習館はまずいことになっていると聞いたのですが、使えるようになったのですか。

(事務局・センター長) 位置によってはつながりにくい部分もあるかと思いますが、基本的には使える状態になっております。

(副会長) わかりました。

(会 長) 錦学習館は 7 月 1 日から施設自体が使えなくなってしまうので、数日間しか Wi-Fi は使えなかったのですが、高校生とか若い方が使いに来たという報告を受けて、あったらあったで利用しようという方はいるのだなと思いました。他に Wi-Fi のことをご質問ございますか。(なし) せっかくなので接続してみるなど試していただいて、使い勝手が悪かったりしたらいけないので、使用感などご報告いただけたらと思います。

4. 協議事項

(1) 令和 4 年度第 1 回立川市生涯学習推進審議会 会議録(案)について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料 1 です。事前に確認をお願いしておりますが、修正意見が 1 件ございました。誤字脱字の修正でしたので、発言内容に影響を与えるものではございませんでした。この会議が終わるまでにご意見なければご承認いただけたということで速やかにホームページに公開させていただきます。

(会 長) ありがとうございます。お気づきの点や修正点はございますか。(なし)

(2) 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 3 年度取組状況の進捗評価について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料 2】になります。昨年度と同様の評価方法に基づく資料を準備させていただきましたが、今年度から評価方法を変えることについてご提案させていただきたいと思います。まず、昨年度のやり方としては、【資料 2-2】をご覧ください。一番右側の具体化の取組が 16 項目ありますが、これを 1 グループ、2 グループ、7 人、6 人にグループ分けをさせていただいて、皆さんにもどちらのグループに属するかを決めていただきました。自身が属するグループの項目に対して意見を出していただいて、それを項目ごとに決めた担当者が意見を集約して原案を作成していただきました。それを正副会長と事務局で全

体のバランスを図るために文言調整を行って、その後、皆さんに確認をいただいて完成という形で実施していました。今回ご提案させていただくのは、委員の皆様から評価する担当の委員さんを募って評価部会みたいなものを作らせていただくのはどうかというご提案です。イメージとしては、この中から3名程度評価委員を募って、生涯審の会議が年に7回ございますが、それ以外におおむね2、3回で16項目の総評の原案を作成する部会を立ち上げられないかというご提案です。その原案を評価委員以外の皆様にご確認いただいて、完成という流れです。スケジュール案として横版の資料をご用意させていただきましたが、あくまでたたき台ですので、第5回の11月30日に完成版をご提示することを目標に評価委員の方と調整を行いたいと思います。この部会方式をご提案させていただく理由としては、進捗評価は非常に重要なものなのですが、皆様にかかる負担が大きく、審議回数も多く必要としています。本来であれば、社会教育ないし生涯学習分野についての議論を深めていただく場として活用していきたいと思いますので、進捗評価を会議の中で扱う回数を減らして、他の議事に回そうというのが趣旨としております。ただし、評価委員とされる方のご負担が非常に大きくなることもご考慮いただいて、この後ご審議していただければと思います。年7回の会議とは別に数回開催してそれに対して報酬をお支払することを想定しています。従来通りの方法と今ご提案した方法とどちらがよろしいか皆様のご意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(事務局・センター長) 補足させていただきます。条例上、部会を設置することができるという規定がございました。その規定を活用して、その部会を立ち上げることはできないかというご提案でございました。評価委員になられる方もご負担が大きくなりますので、事務局もご協力をさせていただいて、その中に入らせていただく予定です。昨年度の評価があるかと思っておりますので、同じというのもよろしくはないのですが、その部分を使用しながら変わったことを評価していただくとか工夫ができそうなものですから、部会についてお認めいただけるようでしたら評価委員の方も選出していただけるとありがたく思います。

(会長) この評価の仕方は何期かに渡って試行錯誤してきている部分がありますが、昨年度までは総当たりのように二つのグループに分けて委員の皆さん全員に意見を考えてきていただいたものを、さらに練りこんでいく形でいろいろな人の目を通して評価してきました。評価そのものの価値が下がるわけではなく、計画と評価の両方に関わるのは立川市生涯学習推進審議会の大きな特徴かと思っておりますので、他にも検討すべきことはたくさんあって、本会議は社会教育委員の会議も兼ねているので、その部分の役割をもう少し果たしていこうということで役割分担をできないかというご提案と私は受け止めました。ただし、たたき台を全員で考えていたのを3名の委員さんに考えていただくということで作業という面ではご負担をかけてしまうのですが、最終的にはこの会議で協議しますので、原案を作成していただくというご提案です。評価方法について、今までどおりか事務局からの新しい提案か第3の違う方法がいいかご意見をお願いいたします。(なし) 新しい

やり方でやってみますか。そうすると誰が担当するのかという問題が、このやり方でいいかということに密接に関わってくると思います。本日、お休みの方が多いので、今日3人決められるかという問題もあります。会議の場で議題になるので、委員さんのお気づきのコメントは入れていただくことができますので、部会では原案作成やとりまとめを担っていただくこととなります。

(B委員) 従来のやり方と今回のご提案のやり方と一長一短あると思います。全員で出し合うと「そういう視点があったな」というのがありましたので、今回も拾えることが必要だと思います。新たな提案の中でもそこは考えていただいているようですので、全体会で意見が拾えるような時間を取っていただくという条件であれば新たなやり方で試してみるのがいいのではないかと思います。今年度やってみて大きな問題があれば翌年考えていくという柔軟性があってもいいのではないかと思います。全体の仕事量でいえば、それぞれが考えてきて全部作って出すということをして採用されるのはほんの少しという状況で、無駄とは言いませんが、集約する正副会長は大変なご苦勞だと思います。我々も同じように自分の担当のところを苦勞して集約していましたので、全体の項数を考えると効率化は考えていいかと思いました。

(会長) ありがとうございます。B委員からまずは一度試してみてもどうかというご提案がございました。誰が担当するかは置いておいて新しいやり方を試してみるというところはよろしいでしょうか。本日、担当者を決めることは難しいと思うのですが、立候補、推薦、こういう構成がいいのではないかとか所属を考慮して組み合わせを考えると、何かご意見ある方いらっしゃいますか。

(B委員) 市民交流大学の企画運営委員会で、市民交流大学の評価をやっていたのですが、それを生涯審の方でやってもらうから企画運営委員会ではやめましょうということになりました。なので、企画運営委員会で「市民交流大学の評価に参加をしないことになりました」と報告しづらいなということがあって、C委員がやっていたのであれば、それでもいいのですが押し付け合うのもどうかと思いました。

(会長) 議事録も交換し合って、立川市の生涯学習を考える大きな会議体の二つになるので、市民交流大学の関係する委員からどなたか入っていただけるのがいいと思います。「B委員かC委員か」、もしくは、「B委員とC委員」という形で入っていただけた方がいいかと思います。

(B委員) どなたもいらっしゃらないようでしたら、やらせていただく覚悟はしておきたいと思います。

(会長) ありがとうございます。その筋で言うと、学習館に関わられている委員さんもどなたか入っていただくのいいのかなと思います。

(A委員) バランスのいい集め方というのは賛成なのですが、その部会の中に会長か副会長は入った方がいいですね。

(会長) 本会議とつなぐ役割としてということですね。ご意見として承りました。そのほかいかがでしょうか。

(D委員) 学習館からということであれば副会長が兼ねていらっしゃるの推薦します。

(会 長) ありがとうございます。今日決めなくても大丈夫ですよ。

(事務局・管理係長) 大丈夫です。

(副会長) これを3人で原案作ろうと思うと結構大変ですね。

(会 長) シートの数が多いので、大変なのですが、今までの全員の意見をまとめるという作業がなくなって委員さん同士で意見交換しながら作成していくという進め方になります。

(副会長) 前は会長も私もまとめるという立場だったので、熱心に書いていただいたものの一部しか使われないということが確かにありました。

(会 長) 作業がいつぐらいになるかというところ、9月、10月が主ですかね。途中で本会議にかけながらということになりそうです。

(事務局・センター長) 最近、説明責任というところで自己評価というものが多くございます。例えば事務事業評価とか施策評価というものがございます。教育委員会でも点検・評価というのがあって、自己評価をどうするかというところで、例年と比べてどうかというところを参考にします。その中で変化があったところの書きぶりを変えています。全く違う視点で行うこともあるのですが例年と比べてどうかというところを行政は注目していて、一からつくるということは行政ではあまりないです。外部委員さんとして違う視点で見ると新しい評価になってくるかと思えます。ただし、皆さん、ご経験があって全体を評価されている立場なので、行政の自己評価と近いのかなと感じるところがございますので、これまでの評価というのは参考にできるのではないかと思います。

(会 長) 行政の視点ではなくて、一つは市民の視点や学習館利用者の視点、もう一つは市民交流大学や学習館の運営協議会などの運営する側の視点として見ていくということも、とても大事なことだと思っています。他市と比べて、生涯学習推進審議会や社会教育委員が評価に関わることは多くはなく、大事な取り組みなので、バランスを見ながらいろいろなところとつなぐ役割というところでご検討いただければと思います。本日、考え方については出し合いましたので、次回決定したいと思います。事前にやってもいいという方は事務局にご連絡いただいで、初めての方でも初めての視点がありますし、ご経験のある方はそういった視点もありますので、それぞれ違う視点を持った3人に委員になっていただきたいと思えます。次の会議までにご検討いただければと思います。

(3) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について（幹事市）

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 本日のメインの議題となります。本題に入る前に、前回の会議で生涯審と社会教育委員の会議が統合した経緯をその場でお答えできなかったもので、簡単にご報告させていただきます。当時、立川市の社会教育委員の会議は年10回の開催で生涯学習施策について提言することが主な業務でした。一方、不定期開催だった生涯審は生涯学習推進計画を策定するときだけ設置している非常設機関でしたが、策定後に計画の進捗評価をする外部評価機関がないということで生涯

審を定例的に開催した方がいいという考え方もありました。この時期に東京都が生涯学習審議会と社会教育委員の機能が類似していることから二つを統合して一体的な運用を開始したということの影響が大きいのですけれども、他市についても東京都に倣って統合の動きがあったこともあり、立川市についても発展的統合を図ることを目標に調整が行われました。その結果、社会教育委員の会議については平成 27 年 4 月より休会し、その役割を生涯学習推進審議会が担い、条例等の整備を行い、平成 28 年度に正式に統合して現在の形となりました。そういった経緯があったということをご報告させていただきます。ブロック研修会については【資料 3】をご覧ください。今回の資料も会長にご作成いただきました。ありがとうございます。前回までに決まったことと本日話し合う内容についてまとめていただいております。事前に事例案を募っておりましたが、もう少し多くの方のご意見を聞いてみたいということで、この場でご意見を出していただいて、扱う事例等についてこの後決めていきたいと思っております。このほかにも日時について、10 月 29 日ということを進めてきましたが、時間について決めていただければと思っておりますので、資料に書いてある日時でよろしいか確定していただければと思っております。それとオンラインについてはどうするかなどについてもご議論いただければと思っております。ある程度の概要が決まりましたら、各市へ日時だけでも早期に通知を出して周知していきたいと考えております。議論に入る前に、本日欠席の E 委員からご意見をメールでいただいておりますのでご紹介いたします。立川市民科に関することで、上砂川小学校で行っている「ホテル博士になろう」と「玉川上水を世界遺産に」という活動に E 委員も所属している「玉川上水の自然保護を考える会」が協力して指導を行っているということで、いい題材ではないかということとお話できる方を紹介できますという内容でした。事例として扱うことが決まっている立川市民科について、さらに事務局からもご提案がございます。立川市民科について、前回会議で学校教育と生涯学習の内容に偏りが出すぎないようにした方がいいというご意見がございました。構成比や時間配分を考慮できて、立川市民科の概念から実践例までお話しできるという点で、小町前教育長が適任ではないかと事務局としては考えております。今後の調整になってくるかもしれませんが、事例発表者を別の方にとということであれば、小町前教育長には基調講演のような形で、概要の部分だけお話いただくのもいいかと思っております。ご検討ください。

(会長) ありがとうございます。本日は、第 2 ブロック研修会の企画案をお出ししておりますが、報告者、概要、日時、場所は確定させていきたいと思っております。ご報告がありました通り、他市への報告がありますので、ここで大きな流れは決めていきたいと思っております。前回の話し合いで地域ならではの資源を活用した学びと、立川市民科のこと、連携とか協働の要素を入れた事例にしようというところまで合意がとれていまして、テーマは「わがまちならではの学び」に決まりました。都市社連協の統一テーマが決まったことも踏まえてねらいの部分を作成し直しました。事例報告を中心に 2, 3 個立川市の事例を聞いてもらって、グループに分かれて意見交換をしようという大きな流れまで前回決まっています。本日は事例発

表者を誰にして、どのような中身にするかを決めていきたいと思います。2つにするか3つにするかというところで発表の時間が変わってきます。今の段階では本日お休みされているE委員から上砂川小学校の立川市民科で、玉川上水の自然保護を考える会との連携ということで事例をいただいたのと、事務局から立川市民科の成り立ちとか経過とかを小町前教育長からお話をいただけるということで推薦をいただいています。小町前教育長には打診済みでしょうか。

(事務局・管理係長) 打診済みです。

(会 長) 来ていただける可能性が高いということです。それと立川市民科だけを取り扱うわけではないので1本か2本と、地域ならではの団体等と連携・協働した取り組みについてももう1本入るかと思います。合わせて2本ないし3本程度かと思います。事前に事務局にアイデアをお寄せいただいていたかと思うのですが、改めてこの場でシェアしていただきたいと思うのですが、どなただったでしょうか。

(事務局・管理係員) F委員からです。

(会 長) F委員ありがとうございます。それでは、事前にお寄せいただいた内容についてご紹介いただけますか。

(F委員) 団体や先ほどの小町前教育長のように根回しはできておりませんので、アイデア段階ということで捉えていただければと思います。私は立川市民なのでまんがパークについて調べてみました。面白いと思ったのは立川市がお金を出しているわけではないのですが、立川市が承認された団体とかそういったところと連携をして、立川市が舞台の有名な漫画があってジャンルごとに並べてあるとか、施設自体にも工夫があって、立川らしくて面白いと思いました。まんがパークでの市民の学びと学びを推進するための工夫や成果についてということでまんがパークの方が講師かなと思いました。もう一つはウドラというキャラクターがおりまして、このキャラが決まるときに投票したり、週に1回行く体育館ではウドラが人気だったり、物販があったりします。ウドラ夢たち基金というのがありまして、商店街の方が中心となって、大人が思いつかないような子どもたちの夢を叶えさせてあげようということでいろいろな活動をされていました。立川二小では、特殊詐欺防止の動画を作って、市の生活安全課と連携をして公開しているようです。立川四小では、僕たちの学校の緑を知ろうという活動についてもウドラ夢たち基金が協賛をして、校庭にある植物に名前を付けて、どのような植物が自分たちの学校にあるのかを知るような活動をしています。そのほかにごみを減らそうということでフリーマーケットをして、その収益を緑化に役立つ物の購入に充てたというものもありました。商業されている方の工夫があって、子どもたちの夢を叶えてあげようとか夏休みにも企画してやっていただいていることとか考えるとこれもいいなと思いました。

(会 長) ありがとうございます。まんがパークとかウドラも立川ならではのものです。商業地域でもあるという特性を活かしたご提案でした。私からも、連携先として関わりを持たせていただいているのですが、大学との連携ということで、何かの十周年記念で市民と大学生のつくる地域の生涯学習という報告をしたことがあって、学芸大と立川市は平成28年に連携協定を結んでいます。そのきっかけは生涯

学習に関わる部分で、高松子ども科学あそび隊というのがあって理科教員を目指す学生が子どもたちに年間を通して科学教育みたいなことをしたり、幸学習館ではかわせみカフェで異世代交流の場づくりとして学生と関わらせてもらったり、錦学習館ではプレ錦まつりということで異世代を学習館に呼び込みたいという地運協の委員さんの声をきっかけに学生の授業の一環としての学びと地運協の委員さんと地域活性化講座でコラボさせていただいています。今年度、高松学習館では「夏の思い出 たかまつり」ということで関わらせていただいています。先ほどの高松の子ども科学あそび隊は休止中ということですが形を変えて少し行われているそうです。数年前からは職員さんの研修ということで学芸大で公開講座という形で近隣の公民館の職員さんや市民リーダーさんに来ていただいて、コーディネート力をつける研修を年間を通して行っています。こちらは立川市の研修として、予算を確保していただいて募集をかけて3名派遣していただくという形で連携しています。手前味噌ではございますが、一事例案としてご提案させていただきます。これをやる場合は、学習館の職員さん、A委員かC委員みたいに運営協議会の委員さんや市民リーダーの委員長さんとしてその立場でお話いただくか、学生も関わっているので報告者として呼ぶということも可能なので、複数組み合わせず少しずつ話してもらおうというのもいいかと思います。そのほかに立川市民科の方でも連携・協働の方でもいいので、何か考えてきたものはありますか。

(G委員) 同じようなものになってしまうかもしれませんが、一つは立川市民科についてお話を聞かせていただけたらということと、もう一つは大学との連携という2本を立川市として紹介できたらいいかと思っています。実際に小町さんが立川市民科を立ち上げて文科省に承認していただくまでの教育課程をつくってきたということなので、前段として立川の子どもたちに何を学んでもらいたい、あるいは地域を学んでもらいたいという骨子になる部分のお話は出てくるかと思っています。他の市では行っていない特例校になるのでお話していただく価値のある内容だと思います。それを具現化するのが立川市民科でここで扱うのは学校教育と社会教育が連携した活動についてがいいと思います。E委員がおっしゃっているのは立川市民科として玉川上水やホテルを資料として地域を学ぶとか、立川市民科に書かれているカリキュラムの一部分だと思います。それを社会教育の人たちと連携して事業を進めていますという内容のものだと思いますので、そういったお話が聞けるといいと思います。西砂の方で文化会や青少健とやっている麦踏み・狩り・脱穀、それから松明祭りの松明を作るとか地域の農業という部分で何年生かのカリキュラムに組み込まれているのではないかと思います。地域の連携が色濃く出てくるようなものを実践例として扱えるといいかと思います。もう一つは地域の機関と協働している活動は素晴らしいと思いますので、似たような内容かもしれませんが、視点を変えて紹介することはできるのではないかと思います。

(事務局・センター長) 立川市民科のお話がありましたので、各学校の実践例を見ていただけるとわかりやすいかと思います。2部ご用意しましたので、両端からご覧いただければと思います。この中に玉川上水学その巻「ホテル博士になろう」という3

年生の立川市民科で上砂川小学校の取組みがございます。玉川上水の自然保護を考える会だとか学校運営協議会とかと協力してやりましょうというような内容でこれを見ていただけるとわかりやすいかと思えます。学校教育として載せておりますが生涯学習そのものでもあります。古道を歩くとか立川の歴史を学ぶような活動を子どもたちも行っているということで学社一体を感じ取れる部分ではないかと思えます。

(G委員) ぜひとも学校教育の中だけで完結しないでほしいと思っています。まだまだ課題が多い部分かと思えますが、地域学習館を発表の場にすると地域の人も学校まで行かなくても活動の恩恵を受けられるとか地域を知ることにもなるかと思えます。

(会 長) これはどこからの抜粋でしょうか。

(事務局・センター長) 内部資料となります。

(B委員) どこにも公開していないものということでしょうか。

(事務局・センター長) 公開していないものとなります。イメージがわかりやすいようにお見せしているものとなります。

(F委員) 先ほど申し上げたのは、立川市民科は必ず一つ入れるということだったので、立川市民科のほかにとまってご提案したものになります。立川市民科について、立川市報の中に織り込まれたものをお持ちしました。ホテルのことなのですが、こちらは上砂川小学校ではなく新生小学校のものになります。現教育長もこのことに触れていただいている、この内容がいいと思えました。もう一つの方も小学校の取組と私が言ったものと被ってしまうところがありますので、同じような小学生の活動を発表するよりは違う視点からの方がいいと思えます。連携・協働の方は他になければと思ってお出したものになりますので、学芸大の学生との連携というのがいいと思っております。

(H委員) 私も(1)と(2)がリンクするものだと思います。立川市民科の取組が地域との連携であったりするので、立川市民科を大きなテーマにして、各団体や地域との連携としてまとめていけると思うのですが、学校教育の立川市民科に対して、先ほどG委員がおっしゃったように西砂では麦踏みや麦狩りからうどん作りまでつながっていくという地域団体との連携もありましたので、立川市ならではの学びが立川市民科であって、そこに様々な連携があるというのがお話になるのかと思えます。

(会 長) ありがとうございます。別々のものではなく連動させていくということですね。

(B委員) 立川市民科を他市の方に説明するには概略も経緯もお話しなければならないので難しいのですが、小町さんならできるかと思えました。3月末で退任されているかと思えますが、新しくできたコトリンクに行ってみたらたまたま小町さんに会いまして、久しぶりに立川に来たらしいのですが、なぜ来たのかということと落語をやっていたということでした。あの方自身が生涯学習の実践者でもあるので、そういうことをしてもらってリクエストをしても面白いかと思えました。それと大学との連携の話では、市民交流大学の企画運営委員会の委員で市民推進員会の会長でもあり、大学との連携で東京学芸大学にもお世話になって、他の大学と

も連携していろいろなところで活動をされている方がいます。西砂学習館運営協議会の副会長でもあるし、立川市民科の話も大学との連携の話も市民交流大学の話もできるということで、具体的なご提案としては加藤寛治さん・Iがよろしいかと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(C委員) 大学との関わりがいつもあるのでそれが普通とっていたのですが、他の市に聞いたところ、関わりはないとのことなので立川市は進んでいるなという印象があります。実際に学生さんとお話するといろいろな情報を得ることができて、我々の勉強にもなります。これからもいろいろな学習館とコラボしていただければいいかと思います。

(会 長) ありがとうございます。いろいろなところと連携してみた経験からしても職員さんにコーディネート力があるか、連携が継続するかが要となります。もう一つは市民の協力体制があるか、職員と学生だけではどうしても「教える教えられる」とか「大人と学生」という関係になりがちなのですが、普段から関わる人と外部の人が三者くらいの方が学びや気づきが多くて継続できる要素があります。地運協の仕組みがあるというのが前提にあるので、ただ公民館があるとか、ただ市民リーダーさんがいるとかではなく、仕組みが整っているのが大きいと思います。それでは、大きな枠組みとして立川市民科を小町さんにお話しただくというのは合意ということでよろしいでしょうか。小町さんにお話しただくとなると30分程度確保して、全体像と経緯と事例をご紹介いただくのがいいかと思います。よろしいでしょうか。(異論なし) 個別のそれぞれの地域での取り組みはグループでの意見交換で出てくるかと思いますので、そこで深く話せばいいかと思います。これでお一方決定ですね。もう一つの方はいかがでしょうか。自分の方に引き付けてしまいましたが、大学の話と商業施設の話ですね。

(B委員) 会長がおっしゃっていた学習館の職員さんが話してもらおうというのがわかりやすくいいかと思います。

(会 長) ありがとうございます。D委員にも話していただくのもいいかと思います。長年、かわせみカフェをサポートいただいていますので。

(D委員) 幸学習館長が研修に参加されていますよね。研修で学んだことをどこかで発表してほしいと言っていたので、この機会に発表していただくのもいいかと思います。

(会 長) 幸学習館長は昨年、学芸大の研修に参加して文書をまとめてくださっているので素材はあると思います。

(D委員) この間も学生さんが来てプレゼンをしてくれましたが、毎年いろいろな意見交換をしています。最近は学生さんとリモートでやっていたので行けなかったのですが、今回は来ていただいて、うちの方も一回は行こうかということをお話しています。そのやり取りでいろいろ調整している館長に話をしていただければいいなと思います。

(C委員) 学生さんも参加することについてはどうでしょうか

(会 長) 頼めば今年でも昨年でも学生は大丈夫だと思います。錦だとオンライン講座で、

かわせみカフェはできましたね。研修会が10月なのでたかまつりは終わっていますし、錦の養蚕の講座が9月にあるので、終えたばかりの学生が「今年はこのよ
うなことをやりました」ということを二人くらいに来てもらって5分くらい話し
てもらおうというのもいいですね。大学生と直接話すいい機会になると思いますし、
大学生もいい経験になると思います。

(B委員) いいかもしれないですね。行政職の方のお話が続くとなると3分や5分程度学
生や市民の方がいる方がわかりやすく伝わりやすいと思います。

(会 長) 前半は小町さんに一人で話してもらって後半の方は、職員さんと学生と地運協
の委員さんとそれぞれの立場から連携してみてもうどうだったかを話してもらおうのが
いいかもしれないですね。

(H委員) その時にぜひ西砂のように大学生との連携が現実的ではないというか連携がし
づらいところは、全学習館で連携していきたいという視点も入れていただきたい
と思います。地域独特の連携の仕方があると思うので、市全体としての視点を入
れられたらいいと思います。

(会 長) 広げていくためのヒントだったり課題だったり、事例を基に行えるといいです
ね。

(副会長) 大学生が登場して、学校との連携は小学生に出てもらうとかもいいのではない
でしょうか。お風呂のことをやった小学生や松明のことをやっている小学生がど
う感じているのかを話すことができれば、立川らしくていいなと思います。

(会 長) 手配がうまくいくかというところが課題になりそうですね。

(D委員) お風呂の時の小学生はもう中学生になっているのではないですか。

(会 長) お風呂の子たちはもう大きくなっていると思います。小学生の時のこと話して
もらうか、今の子たちに話してもらうかですね。

(G委員) 確かにすごく面白いかと思いますが…。

(副会長) 難しいですかね。

(G委員) それくらい事例を発表できる人たちが多くいるということですよ。先ほどH
委員がお話したような内容は、後半の意見交換で大学生との連携について話題と
して出てくるかと思います。

(会 長) これからやりたいと思っているところともうやっているところとお互い意見交
換できればいいですね。

(F委員) 大学生がボランティアにちょっと参加するとかはあると思うのですが、これほ
ど長く継続して連携していけるというのはないと思うので、会長がおっしゃって
いたように仕組みや土壌がしっかりしているということや、ただ市民がいるだけ
ではないとか、そういう言葉が広がるのではないかと思いますし、他市の方も聞
いてみたいと思うのではないかと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(G委員) 西砂では社会福祉協議会の夏ボラで来てくれた高校生が3年間やって大学生に
なっても学習支援に来てくれています。そういった違った形で学生さんとなつな
がっていくという方法もあるのかなと思います。こういった話は意見交換の事例で
出てくるといいですね。

(会 長) そこに施設があって人がいて、卒業した後も来ることができるというのはとてもいいお話ですね。ありがとうございます。小学生を呼べるかどうかは事務局にお願いしていいでしょうか。立川市民科に関わっていて発表してもいいという人がいたら来てもらいたいということでお探しいただければと思います。

(A委員) 高松が学生さんとの連携を多くさせていただいたなと感じましたが、前係長の石井さんが立川女子高校や立川二中や小学校とかとの連携を模索していたのを思い出しました。立川女子高校の料理部との合同講座とかあったのですが、今回学芸大学の学生さんのワクワク感ややる気が今までのものと違うので、何が違うのかと思っていたのですが、関わった人たちが自発的かで大きな差があって、高松学習館の場合 3 階にあるので、入り口で「やっていますよ」と言ったところであまり入ってくれない、そのような状況をどうしたらいいかということを経験さんが本気で考えてくれています。そういう自発性を持った方がやった事例を発表していただく生き生きとした発表になるのではないかと思います。

(会 長) 自発性に基づく学びというところで生涯学習らしいですね。ありがとうございます。

(C委員) 高松のメンバーはやる気がありますよね。

(会 長) そういう自発的に取り組んでいる子どもさんがいれば探してみます。大学生の方は私の方で引き取らせていただきます。講師は名前ではなくで「大学生」としておいていただければ当日来れる人を探して頼みたいと思います。(2)の方は大学との連携とさせていただいて報告者で候補に挙がっているのが、まずは幸学習館長と大学生、地運協の委員さんにも何か話していただけるといいかと思います。先ほどの話だと地域学習館運営協議会というのが各学習館にあるというのがひとつ特徴だと思いますので、社会教育施設を市民と行政と協働して運営しているということで市民の立場からお話をさせていただくのがいいかと思います。幸学習館長が報告者だとパートナーはD委員になるのかと思います。A委員やC委員でももちろんいいのですが、職員さんどなたかと大学生と地運協のどなたかというところは事務局と調整させていただきたいと思います。大きな枠組みでは 10 月 29 日の午後 2 時から 4 時半で大丈夫でしょうか。幹事市になると委員さんにグループに入らせていただくという形で役割分担があるかと思います。場所は市役所のガラス張りの広いところですね。学習館やアイムの方がいいですか。

(A委員) ここにオンラインを併用するか要相談となっているのですが、市役所だとオンラインできないので、西砂学習館みたいな駐車場もあって、回線も太いようなところを推したいです。

(会 長) オンラインをやるかどうかは会場によって異なりますかね。それではオンラインやるかどうかを決めたいと思います。やるとしたら会場でやりつつオンラインという併用の形になるかと思います。

(A委員) コロナの感染者が増えている状況の中で、オンラインの準備もしておかないと会場が使えませんかということで研修自体が中止になる可能性もあるので、フルオンラインも含めて考えた方がいいと思います。

(会 長) 対面でやるとしたら市役所がいいと思います。

(A委員) 両方押さえておいて、両案で進めるのはだめなのでしょうか。

(会 長) 事務局いかがでしょうか。市役所でやるとなるとポータブル Wi-Fi を持って行ってということになりそうですね。

(A委員) ポータブル Wi-Fi は非常に回線が細いので安定感がないですよ。

(会 長) オンラインになったら後半のグループワークは難しくなるかもしれないですね。Wi-Fi が入る前にプレ錦まつりをオンラインでやりましたが、グループに分かれるとそれだけで容量を使っちゃうので結構危なかったのですが、配信するだけとなると人数増えても回線が重くならなかったです。ブレイクアウトルーム作るとちょっと厳しいですね。完全オンラインということになるとプログラムを変更ということになりそうですね。ご報告はできると思うので、市役所でもいいかなと思います。

(事務局・管理係員) 詳しいことがわかっていないのですが、回線が有線として来ていれば問題なくできますか。

(A委員) そうですね。例えば、自治連の市民コミュニティ推進室だとジェイコム回線が個別に引かれているのですが、それも 30Mbps くらいしかなくて、NTT のように太い回線が来ていればいいのですが速度によります。

(事務局・管理係員) 市役所で Web 会議の業務が増えている中でインターネットに接続することができる会議室もあるので、101 会議室でも使用できる可能性はあるのかなと思います。LAN ケーブルの口はあるのでそれが使えるかどうかですが、ただ断定的なことは言えないので確認させていただきたいと思います。

(A委員) 無線よりは有線の方がいいですね。

(事務局・管理係員) 本来この段階で確認をしておくべきだったのですが、申し訳ありません。

(会 長) それでは、会場については事務局にお任せいただくということで一旦よろしいでしょうか。対面でできれば対面に越したことはないけれどもオンラインの可能性もいざという時のために残しておくという形ですね。プログラムのタイトルとか表現については関係者と調整してメールとかで見ていただくということでもよろしいでしょうか。大きく分けて報告と意見交換とまとめと思ったのですが、言い方はこれでよろしいでしょうか。

(副会長) グループに分かれて意見交換とかですかね。

(会 長) 最後のはどういう言い方がいいですか。「全体」とか入れない方がいいですか。

(副会長) 討議するわけではないから「全体での共有とまとめ」でいいのではないのでしょうか。

(A委員) 前回段ボールのテーブルみたいなのでやったときと似たような流れではないですか。

(会 長) あの時はずっとグループワークで最後に発表みたいな感じですね。

(A委員) その時の言葉を参考にすればいいのではないのでしょうか。

(事務局・管理係員) 確認します。

(会 長) それでは、報告のところで 30 分・30 分で 1 時間、グループでの話し合いが 1 時間弱、最後のまとめが 30 分弱ですかね。最初と最後にご挨拶があるかと思いま

すので、ざっくりこのようなタイムスケジュールですかね。

5. その他

(1) 中学生の主張大会について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料 4】になります。毎年依頼がくるもので今年は団体審査員が 2 名、個人審査員が 1 名の選出をお願いいたします。イベントの概略として、大会が 11 月 3 日の文化の日にたましん RISURU ホールで行われます。団体審査員は大会当日の審査。個人審査員は大会当日に加えて、ご自宅での作品原稿の事前審査と 10 月 6 日の審査会があります。可能でしたらこの場で選出をお願いしたいと思います。

(会 長) 11 月 3 日の当日審査をする方がお二人、個人審査員は作文を事前に読んで審査会にも参加して、大会当日も参加するということになっています。生涯審の委員から推薦するというので依頼が来ていますが、立候補はいらっしゃいますか。

(B 委員と A 委員挙手)

(B 委員) 先に私から言いたいでしょうか。ものすごく大変なのですが、その分やりがいもあるので個人審査員を希望しますが、過去に何度もやっているのでもやりたい方がいらっしゃったらその方をお願いしたいと思います。

(A 委員) 個人審査員を以前経験しまして、ここ 3 年間娘の関係で立候補できませんでしたが、今年はできますので個人審査員をやらせていただければと思います。

(会 長) 個人審査員は作文をたくさん読まなくてはいけないという大変さはあるのですが、その分おもしろいと伺っています。ここはお二人でご相談いただいていただくのがいいでしょうか。

(B 委員) ここは A 委員をお願いします。

(会 長) それでは久々に個人審査員をお願いします。団体審査員はいかがでしょうか。

(G 委員と H 委員挙手)

(H 委員) 同じ地域になってしまうので、そういうのは気にした方がいいかもしれませんね。

(会 長) 中学校の地域が偏ってしまうということですね。

(D 委員) 団体審査員でよければやります。

(G 委員) 私は人権作文の方もやっているのでも H 委員よろしければどうぞ。

(会 長) それでは、H 委員をお願いします。立候補いただいた方すみません。決まりました。そのほかありますか。

(A 委員) 高松学習館運営協議会に倉持会長と学生さんにご出席していただいてコラボレーションしていただけるということで我々の方から課題を伝えさせていただいて、先ほども言いましたが 3 階にどのようにして人を引き込むのかとか、文化祭のという名前はやめてフェスティバルにしようという話もあって、結果間に合いませんでしたが、たかまつりという素敵な名前をいただいて、子供向けが中心だったのですが、地域の方も気軽に参加できるように、学習館を知っていただけるように開催させていただく運びになりました。他の学習館さんは関係する諸団体と強

力に連携してイベントをやっているというケースがあるかと思うのですが、高松は実はなくて、今回のたかまつりをきっかけに自治会連合会の栄町支部や市民リーダーの会さんや社会福祉協議会さんなど過去に例がなかったので期待できる内容ということで我々も楽しみにしている状況でございます。ぜひともお時間の都合がつけば足を運んでいただければと思います。C委員補足お願いします。

(C委員) 夏にやるので「夏の思い出 たかまつり」となっています。また、冬にできたらと思っておりまして、学生さんとたくさん交流ができればいいなと思っております。ぜひ、お越しいただけたらありがたいです。

(会 長) 連携でうまくいかない部分もあるかもしれませんが、今年初めてやる取り組みなので、連携のスタートを生涯審の皆様には視察を兼ねて見に来ていただけると課題とかも見えてきていいかと思っております。それでは、もう一つを副会長からお願いします。

(副会長) 緑の用紙です。柴崎学習館が提案した平和都市宣言30年ということで全学習館の運営協議会に協力していただいて巡回展示をすることになりました。代表者会議で集まったときに子どもが興味を持てるようにしたいということで、一小の卒業生でその時代のことを絵に描いている方がいて、その絵15枚をパネルにして写真と展示して、大人も見て戦争のことがわかるように、各運営協議会で地域のことを展示にして作っていただければということで、例えば幸では人を呼んで体験を語っていただける方を探していただいたり、西砂では大きな展示パネルを作っていただいたりということで進んでいます。身近に戦争があったことを感じていただければと思います。裏面は毎年ビデオを各学習館で上映しているので展示に合わせて上映しようということで、体験者のお話もそこでしていただくという企画をしています。錦は工事中なのでそれ以外の学習館でご協力いただいています。ぜひ足を運んでいただければと思います。

(会 長) そのほかありますか。

(A委員) 自治会連合会ですが、各町会支部でお祭りが復活してきました。今週土曜日に栄町南部自治会が盆踊り大会を皮切りに南側でも動きがあるようで、8月によいと祭りが予定されています。神輿を回したりとかはないのですがテントは出すということなので、徐々に元の状況に戻りつつあるということでご報告申し上げます。

(会 長) そのほか何かございますか。(なし) 次回は9月1日18時半からアィムで行います。それでは、第2回生涯学習推進審議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。